

その会社の社員は7人。5人は障害者で、そのうち2人は車椅子を使う。女手ひとつで子育てする母親もいる。

中小企業の在庫管理などのシステムを手がける有限会社「奥進システム」（大阪市中央区）は会社の基本理念に「私たちと、私たちに関わる人たちが、とてもしあわせと思える社会づくり」を掲げる。代表の奥脇学さん（44）は社会的弱者が働きやすい環境づくりを進めてきた。

事務所では段差をなくし、車椅子が入る高さの机を特注した。触れば簡単に開くドア、パソコンのマウスに代わり、

### 働きやすい会社

## 憂楽帳



トラックボールで作業する。体温調節が難しい人がおり、机の上には小型扇風機を置いている。

火、木曜は在宅勤務。午前8時半に、インターネット電話サービスによる朝礼が開かれる。ネットや携帯電話の普及で、時間や場所に制約されずに、働ける。バイク事故で車椅子生活を送る小西秀幸さん（29）は「風邪をひきやすく在宅勤務は助かる。生きがいを持ち働き続けられる」と見せる笑顔がまぶしい。

経営者が信念を持って、少しだけ工夫する。それで、何かが変わる。【中西満】